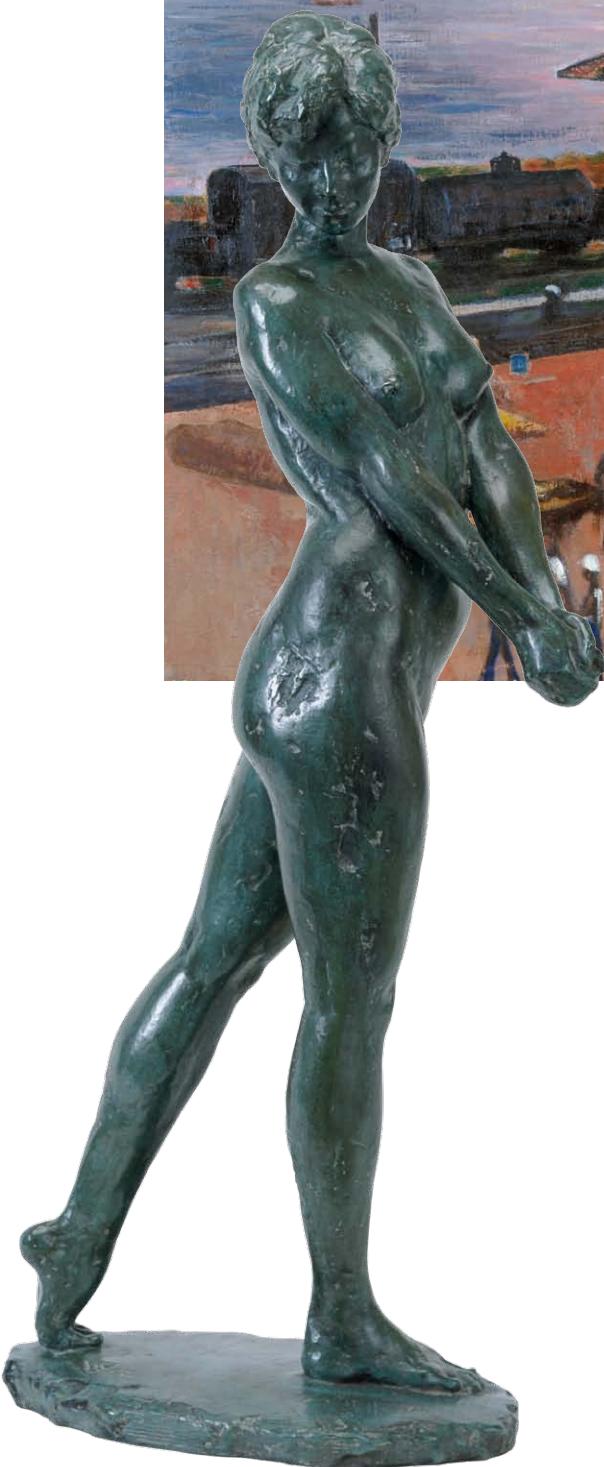




斎藤長三　酒田港口 1951年制 40号 油絵・キャンバス



高橋 剛 裸婦立像 1966年制 ブロンズ 89×23×35

洋画 斎藤長三 二人展
彫刻 高橋 剛

酒田市美術館収蔵品

会期 平成29年 8月25日(金)-9月26日(火)

会場 真下慶治記念館 常設展示室



最上川美術館
真下慶治記念館

洋画 斎藤長三 二人展
彫刻 高橋 剛
酒田市美術館収蔵品

会期 平成29年 8月25日(金)-9月26日(火)

会場 真下慶治記念館 常設展示室

平成29年度、最上川美術館・真下慶治記念館の企画と致しまして酒田市美術館収蔵品の中から、斎藤長三油絵・高橋剛彫刻を展示致します。真下慶治と同世代に活躍した作家です。両作家の多くの作品の中から一部の展示となりました。初秋の季節ご高覧の程お待ち申し上げます。



洋画家
斎 藤 長 三



彫刻家
高 橋 剛

(千葉浩志・撮影)

経歴

1910 明43 山形県酒田市漆曾根に生まれる
1923 大12 県立酒田中学校(旧制)に入学 上級生に小野幸吉がいた
1929 昭4 東京高等工芸学校(旧制)に入学
1931 6 第1回独立展「風景」20号「自画像」15号
1935 10 第5回独立展「馬車の到着」100号「五反田駅」
100号「わが旅への誘い」80号出品 D賞受賞
1936 11 独立美術協会に会友制度となり会友となる
1938 13 創紀美術協会を結成し、同人となる
1940 15 「市井風物C・川」130号出品 岡田賞を受賞
紀元2600年奉祝典「働く少年たち」60号出品
1941 16 独立美術協会会員となる
1945 20 山形連隊に入る終戦、8月末除隊。
1952 27 第1回日本国際美術展「酒田風景」25号
1956 31 武蔵野美術大学教授、日本大学芸術学部講師
となる
1962 37 一斎藤長三デッサン集一を酒田みちのく豆
本の会から刊行する
1964 39 斎藤長三油絵展覧会(本間美術館)
1974 49 斎藤長三画業展(山形美術博物館)
1981 56 武蔵野美術大学別科実技専修科主任教授
斎藤長三教授作品展(武蔵野美術大学美術資
料図書館)
1982 57 武蔵野美術大学退職 名誉教授
1984 59 斎藤長三展(本間美術館)
1992 平4 第60回独立展に「丘陵」を出品する
1993 5 ねりまの美術93'
斎藤長三・深沢紅子展(練馬区立美術館)
1994 6 逝去

経歴

1921 大10 山形県酒田市生まれる
生家は代々続いて仏像の木彫を業とする
1939 昭14 山形県立酒田中学校(現酒田東高)卒業
1940 15 美校受験のデッサンの勉強をするため川端
画学校に入学
1941 16 東京美術学校彫刻科に入学
1943 18 学徒出陣にて応召
1946 21 東京美術学校彫刻科卒業
関野聖雲、北村聖望に師事
1947 22 第3回日展「夏に立つ」初入選 以後連続出品
1956 31 第12回日展「踊り子」特選受賞 文部省買上げ
1957 32 第13回日展「バレエ・ダンサー」特選受賞
1958 33 第1回改組日展「振付」を出品、特選を受賞
1959 34 日展委嘱となる 斎藤茂吉文化賞受賞
1960 35 日展会員となる
1961 36 日展審査員となる。
1962 37 東京家政大学教授となる
1968 43 日展審査員となる
1969 44 紺綬褒章受章
1970 45 日展審査員となる
1972 47 日展評議員となる
1976 51 日展審査員となる
1980 55 日展「静かなるプリマ」文化庁買上げ
1981 56 日展審査員となる
日展に房総の女」内閣総理大臣賞を受賞
1985 60 金沢美術工芸大学非常勤講師となる
1986 61 日展出品作「稽古場の踊り子」が日本芸術院
賞・恩賜賞を受賞
1987 62 日本彫刻会理事・委員長となる
日展理事となる 東京家政大学名誉教授
1991 平3 自らの彫刻作品の石膏原型178点を酒田市
に寄贈する
逝去 享年70歳
勲四等旭日小褒章に叙せらる



最上川美術館
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1 TEL.0237-52-3195 FAX.0237-55-2152
E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp HP www.massimo-k.org
開館時間／午前9時～午後5時 休館日／水曜日(祝日の場合は翌日)